

令和5年度第2回大分県総合教育会議 議事要旨

【日程】

日時 令和6年3月18日（月）

開会 13時30分 閉会 15時00分

場所 県庁本館4階 第一応接室

【出席者】

総合教育会議構成員 大分県知事	佐藤樹一郎
大分県教育委員	岩崎哲朗
大分県教育委員	高橋幹雄
大分県教育委員	鈴木 恵
大分県教育委員	岡田豊弘

【協議事項】

- (1) 夜間中学について
- (2) 不登校について

【発言要旨】

協議事項（１）夜間中学について

（要旨）

- ・ **夜間中学は必要。受入対象者の範囲や設置場所について調査研究が必要。**
 - ・ **ICTを活用したオンラインでの模擬教室の実施や、夜間中学の制度についてさらなる広報が必要。**
 - ・ **受入対象範囲は、夜間中学の設置意義に留意。外国籍の方を対象とする場合は、既存の日本語学校との役割分担などの整理が必要。**
- ・ 夜間中学は性急に開設するのではなく、検討を重ねてより良い形を考えるべき。（岩崎委員、高橋委員、岡田委員）
- ・ 義務教育を受けられなかった方のセーフティネットとして夜間中学は必要。（高橋委員、岡田委員）
- ・ 夜間中学について、十分に情報が届いていないと思われるため、模擬教室の実施や、さらなる広報を行うべき。（岩崎委員、鈴木委員）
- ・ 開設にあたっては入学要件の範囲と通いやすい場所選びが大切。（高橋委員、鈴木委員）
- ・ オンラインでの模擬教室も有効ではないか。（岩崎委員）
- ・ 入学要件の範囲を決めるにあたっては、義務教育としての夜間中学の設置意義を踏まえることが必要。外国籍の方を対象とする場合は既存の日本語学校との役割分担などの整理が必要。（知事、岩崎委員、高橋委員、鈴木委員）

協議事項（２）不登校について

（要旨）

- ・ **不登校児童生徒数は増加傾向にあるが、これまでの取組の成果により本県の増加率は全国平均よりも低い。**
 - ・ **フリースクールも不登校児童生徒の居場所の一つ。今後もフリースクールに通う児童生徒の状況やニーズの把握などが必要。**
 - ・ **スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーによる支援は非常に有効。**
- ・ 不登校児童生徒数については、国も県も増加傾向にあるが、これまでの取組の成果により本県の増加率は全国平均よりも低い。（岩崎委員）
- ・ フリースクールも不登校児童生徒の居場所の一つ。タブレットなどのICTを活用することで学校との連携も進む。（鈴木委員）
- ・ 他県状況なども研究し、フリースクール利用者への支援が必要。（岩崎委員）
- ・ スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーによる支援は非常に有効。（高橋委員、岡田委員）

以上